

1. 件名：福島第一原子力発電所における実施計画の変更認可申請（6号機燃料取り出しに伴う構内用輸送容器収納燃料（9×9燃料）の追加）に係る面談
2. 日時：令和4年5月26日（木）10時30分～11時10分
3. 場所：原子力規制庁 6階1F会議室
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

松田室長補佐、塩唐松係員、高木技術参与

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所 担当3名（テレビ会議システムによる出席）

#### 5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社から、実施計画の変更認可申請（6号機燃料取り出しに伴う構内用輸送容器収納燃料（9×9燃料）の追加）について、資料に基づき、主に以下の説明があった。
  - 6号機燃料取り出しの今後の予定について。
  - 構内用輸送容器 NFT-32B の溶接部の PT 指示の影響について。
- 原子力規制庁は、上記説明を受けた内容について確認するとともに、以下のコメント等を行った。
  - NFT-32B の底板の傷について、補修して当該キャスクを使用するかどうかの判断を明確にした上で、実施計画の変更内容を整理して説明すること。
  - その説明の際には、燃料取り出しの今後の予定も併せて説明すること。

#### 6. その他

資料：

- 【補足説明資料】 6号機燃料取り出しに伴う構内用輸送容器収納燃料（9×9燃料）の追加
- 構内用輸送容器【NFT-32B】の溶接部の PT 指示における輸送容器への影響について

以上